部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電話	483-1151 内線3561

1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)

コード	3269	事務事業名称	農業生	農業生産基盤整備事業					短縮	コード	経常	臨時 3269		
予算区分	会計 01	一般会計		款	06	農林水產	産業費	項	01	農業費	目	06	農地費	
区分	☑ 自治事務 □ その他	□法定领	受託事務	i	根拠浏	去令等				改良法、経営体育成基盤整 補助金交付要綱、水資源機		実施要	綱、八千代市	補助金等交付
事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)														
収和94年 、土地改自注が施行された														

昭和24年、土地改良法が施行された。

農業近代化のため、農業生産基盤の再整備を促進し、生産費のコスト縮減、農業生産性の向上を図り、農業経営の合理化、担い手の育成を図る。

6本の柱(章) 事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 06 第6章産業活力都市をめざして 都市化の進展に伴い、農地の減少及び農業就業者人口の減少が進み、農 大項目(節) 01 第1節農業 業従事者の高齢化や後継者不足による労働力の不足が生じている。 総 01 1. 農業 合 中項目 計 画 の 01 (1)農業生産基盤の整備と利活用 施策 小 項 目 体系 02 ②ほ場の整備 細 項 目 6094 水田再基盤整備事業 実施計画の 計画事業 計画事業の位置付けの有無 計画事業期間 計画事業費 千円

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

2. 争勿争未切	
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	農用地 農家担い手 印旛沼開発施設 千葉県
手段(具体的な事務事業	※平成23年度に実際に行ったこと: 県営土地改良事業(再基盤整備)への参画・協力、負担金支払い 睦東部1期地区が事業完了し、平戸2期地区工事施工の負担金支払い 水資源機構営印旛沼開発施設緊急改築事業負担金支払い 新規事業化希望地区の支援
のやり方、手順、詳 細)	※平成24年度に計画していること: 県営土地改良事業(再基盤整備)への参画・協力、負担金支払い 平戸2期地区工事施工の負担金支払い 水資源機構営印旛沼開発施設緊急改築事業負担金支払い 再基盤整備事業(新規地区)への支援
意図 (何を狙っているの か)	農地の再基盤整備により、農業生産性の向上を図る。 印旛沼開発施設緊急改築事業により、農地への用水の安定供給及び周辺農地及び宅地等への洪水防止。
ねらい (上位施策の 意図)	入力対象外

区分			₩ / +	2 2 年度	23年	2 4 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	整備必要面積	ha	517. 9	517. 9	517. 9	517. 9
対象指標	指標 2	負担金	円	2, 787, 302	4, 478, 000	3, 996, 809	3, 674, 000
	指標3						
	指標 1	再基盤整備事業実施済面積	ha	307. 6	307. 6	307. 6	307. 6
活動指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	再基盤整備率	%	60	60	60	60
成果指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 3269	事務事業	美名称	農業生産基盤整備事業 所属名 農政課					
単位				2 2 年度	2 3	2 4 年度			
平 四				実績	計画	実績	計画		
		国	千円	0	0	0	0		
	財源内訳	県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
_		一般財源	千円	2, 787	4, 478	3, 997	3, 674		
事業費		その他	千円	0	0	0	0		
費 (A) 主な事業費の内訳				負担金 2,787千円	負担金 4,478千円	負担金 3,997千円	負担金 3,674千円		
人件費(B) 千円			千円	9, 013. 3	8, 594	8, 929. 8	7, 470. 7		
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	11, 800. 3	13, 072	12, 926. 8	11, 144. 7		

3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	「農業生産基盤整備事業」は上位の施策「農業生産基盤の整備と利活用」のために推進しており、結びついている。						
	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	□ 結び付くが見直しの余地がある							
		□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	再基盤整備必要面積の60%の整備であり、今後も整備を行う必要がある。						
目	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない							
口的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	□ 評価対象外事項							
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	公共事業であり、民営化にはなじまない。 事業主体が市以外であっても、市として受益者である農家への支援及び事業への参画は必要で ある。						
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項							
		☑ 現状のままでよい	現状の対象と意図で、農業生産基盤の安定という結果に結びつく。						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
		有効性向上の可能性がある	この事業の実施主体は千葉県であるが、市農振計画や市基本構想等との整合性を図りながら、 県の施策の展開により市も主体的に実施し、受益者に協力、支援しているが、今後さらに効率						
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある	性を向上させることは難しい。						
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある							
	入する。 	☑ 可能性がない							
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等							
効 性 •	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等 の活用							
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し							
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 実施主体 (所管部署)						
		□ 上記以外の方法	事業 名称 2 実施主体 (所管部署)						
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある							
	民の理解等)	口ない							

⊐-	-ド 3269 事務事業名	農業生産基盤整備事業	所属名 農政課				
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を 択し、その詳細について右欄に記 する。		農業生産性の向上、効率的、安定的な農業経営の確立等を推進するため、土地基盤の整化で農用地の利用促進等の推進を支援する。				
性		経	費 老朽化による施設機能の低下が著しいことから用排水施設の改修・整備を行 う目的であり、事業実施における経費の大部分が負担金で占めている。				
	③■の東改東米の人仏の奴典 ぱ		変 増 加				
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に取由を記載する。						
	四と記載する。						
		低 下 □ [
こ <i>の</i> ※内)事務事業に対する市民や議会の意見 目部サービス業務の場合は、住民では	(担当者が把握している意見) なく、サービス利用者、関連部門の	D 意見や実態など				
集落の水田営農と農地保全のため、営農組織の設立、担い手育成のための農地流動化の促進を積極的に進めてほしい。生産性の高い農業経営を確立し、農業の近代化を推進するため、再基盤整備事業を推進して欲しい。							
所属長コメント	水田再基盤整備を行うことによりべき事業である。	農地の保全及び農地の流動化を促	進することにより担い手の育成を図り、農業経営の安定化や近代化を進めていく。今後も推進す				
	□改革改善して継続	旦当課の評価のとおり, 現状のまま					
評価調整委員	□ 手法プロセスの改革・改善□ 事業規模の拡大・縮小□ 統合・役割見直し□ その他						
会 評	□ 廃止・休止 □ 事業完了						
価	□ 事未元」						